

令和元年東日本台風では、全国各地で甚大な被害が発生したことを踏まえ、中川水系においても、事前防災対策を進める必要があり、以下の取り組みを実施していくことで、甚大な被害を生じさせた平成13年6月洪水と同規模の洪水による浸水被害の解消を図る。



凡例

- 浸水範囲 (計画規模1/50)
- 河川
- 流域境
- 市町村境



- ・災害リスクの現地表示、洪水ハザードマップの周知
- ・洪水浸水想定区域図の作成
- ・避難訓練への住民参加促進
- ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進
- ・水防災教育、マイ・タイムラインの普及 等

放水路整備

H13.6月
溢水状況

新設放水路

現川改修

- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
- ・放水路整備 等【富山県】
- ・雨水貯留施設の整備 (開発行為における調整池など)【開発事業者】 等

- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
- ・災害リスクの現地表示、洪水ハザードマップの周知、浸水実績の周知【富山県・滑川市】
- ・洪水浸水想定区域図の作成【富山県・滑川市】
- ・避難訓練への住民参加促進及び住民参加【滑川市・住民】
- ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進【富山県・滑川市】
- ・水防災教育 (出前講座の活用)、マイ・タイムラインの普及及び作成【富山県・滑川市・住民】
- ・災害情報普及支援、浸水被害軽減対策【富山県・滑川市】
- ・水位計・監視カメラの活用【富山県】
- ・事業継続力強化計画の策定促進【富山県】 等

要配慮者利用施設避難確保計画の作成及び支援

説明会の様子

水位計・監視カメラの活用
河川状況等ライブカメラ情報

県HPに掲載
リアルタイムでの情報発信

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

- 中川では、県、市が一体となって以下の手順の「流域治水」を推進する。
【中期】流下能力不足解消のため、沖田川放水路整備等を実施する。
【中長期】更に流域全体の安全度を向上させるため、河道掘削などの維持管理を実施する。
- あわせて越水、溢水の頻発箇所へは、必要に応じて、水位計や監視カメラを設置し、WEB上への配信追加・周知などを行うことにより、避難判断に役立てる。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	沖田川の整備 (放水路整備 等)	富山県			
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	洪水浸水想定区域図の作成、避難訓練への住民参加促進及び住民参加等	富山県 滑川市 住民			
	水位計・監視カメラの活用	富山県			

【事業費(R4年度以降の残事業費)】

■河川対策
全体事業費 10.3億円※
沖田川の整備 等

※県の河川整備計画の残事業費を記載

気候変動を
踏まえた
さらなる対策を
推進

必要に応じて、越水、溢水の頻発箇所への設置やWEB上への配信追加・周知など